

すぎふあみ 便り

杉並区教育委員会が発信する
家庭教育情報。
保護者が家庭や地域でより豊かに
子育てするためのヒントをお伝えます。



コロナ後の学校での感染予防とマスク着用について、改めて教えてください

全国での一斉休業が順次明けた2020年6月、東京都でも段階的に分散登校が始まり、対策が本格化しました。検温、消毒、換気、手洗い、マスク着用を中心に、できる限りの策を講じながら学びを取り戻し、充実させるべく、全教員で話し合い、都度、対応を考えました。

給食や至近距離での会話を控えるようになりましたが、子どもたちに目くじらを立てて注意する場面はほとんどなかったです。当時は、これほど長期化するとは予想せず、一時的な流行との思いもありました。

マスク着用に関しては、学校再開以前の同年5月に、中国の中学生がマスクを着けて体育の授業で急死する報道が日本で相次ぎ、その直後、スポーツ庁から、熱中症事故の防止に留意し十分な対策を講じた上で「体育でマスク着用の必要はない」とする指針が出されました。以降、区のガイドラインを受けて他校の校長先生方とも情報交換し、運動会では競技時、応援時などさまざまな状況をシミュレーションして相談し合い、マスクの着脱について判断してきました。



すっかり習慣づいたマスク着用。新たな方針で、何がどのように変わるのでしょうか？

長期のマスク生活で、子どもも教員もマスクの顔に慣れ、それが自分の日常の姿と感じる高学年の児童も見られます。現3年生までは入学当初から、マスクの顔しか知らない子がほとんどで、マスクは衣服の一部のような感覚なのかもしれません。

一方、今年5月、文部科学省から、学校生活上のマスク着用に関する考え方が示されました。それを受け、杉並区教育委員会のガイドラインも改訂され、「マスク着用の必要がない場面」が記されました。体育では、人との距離を確保した上でマスクを外すように指

どうする？ どうなる？ マスクの着用緩和 ～親子で考える今後のマスク生活

5月下旬、政府はマスク着用をめぐる新たな方針を示し、学校での着用も緩和されました。今後、どのように着脱すればよいのか、この2年間、現場の先生たちと試行錯誤を重ねた堀之内小学校の森孝校長に、これまでの経過と今後の見通しを伺いました。

導する、休憩時間などの屋外活動時も「三密」（密閉・密集・密接）にならなければ原則マスクを外す、登下校時も会話を控えマスクを外すことが示されています。

これまでも熱中症対策として、マスクの取り外しについては、運動時のほか、登下校時も「おしゃべりしないなら外しても大丈夫」と伝えてきました。今回のガイドラインでは、熱中症対策に限らず、学校生活の中で必要ない場面が挙げられ、今までより進んだ対応ができると考えています。



熱中症の心配はありますが、体調面などの不安から外せないケースもあると思います。今後の方向性や、親子で気をつけたい点をアドバイスください

本校では、まずはガイドラインにあるようにマスクを取れる場合は取るように伝え、この場面では着ける、外すというのを臨機応変に、子どもたちの状況に応じて対応していきたいと考えています。具体的な場面、声のかけ方を教員同士で共通理解し、1週間ごとに子どもの様子を振り返りながら対応を工夫しています。

本来は教員が、外せる場面で実践してみせられるといいのですが、指導時に声を出さざるを得ない教員こそ外せないというジレンマがあります。ですが、過去2年間と同様、試し、振り返って検討を重ね、模索するほかありません。

マスクを取るにしても、一律に強制はできません。この時期は、熱中症対策は重要ですが、健康上の配慮などさまざまな理由からマスクを外せない子もいます。熱中症のリスクを伝えつつも、外せない背景や子どもの思いに寄り添った個別の対応は欠かせません。

親子で話し合う際は、いろいろな場面や考えがあると大人が想定し、子どもの意見を聞いてみてはいかがでしょうか。着用の有無を自分で考え、異なる意見に接し、多様性を尊重する。マスクをめぐる体験が、いずれ子どもが自分で判断し、生活を営むための学びになり得ます。

大人も初めての体験で不安や悩みもあるでしょう。保健室の養護教諭や担任に相談したり、保護者会などで共有し意見を交わしたりしてはいかがでしょうか。大人も子どもも、一人で抱えないことが大切だと思っています。

家庭教育講座の窓から

子育ての悩みを仲間と分かち合い、 学び合う場を



杉並区教育委員会では、地域の中で自ら学びの場をつくらうと思ったとき、家庭教育講座を開催するための支援を行っています。自ら学びの場をつくらってみたいという方は、気軽にご相談ください。

■講座の企画や相談、開催予定などは、杉並区教育委員会事務局 学校支援課 家庭・地域教育担当まで
【お問い合わせ】 電話：03-5307-0759（直通） ✉ gakkou-sien@city.suginami.lg.jp

Profile



森孝（もり たかし）さん

杉並区立堀之内小学校校長。杉並教育研究会小学校体育部会顧問、昨年度は同研究会小学校保健教育部会顧問を務める。東京都少年サッカー連盟・第4ブロックの副委員長。